

あやちゃん展に世界が感動

全米骨髓バンク総会で大きな反響



あやちゃん展会場でハンセンNMDP理事長と全国協議会代表団

9月17日から20日まで、アメリカミネソタ州のミネアポリスで、全米骨髓バンク(NMDP)の年次大会が開催され、全国協議会は「あやちゃんの贈り物展」を出展しました。参加者の多くがあやちゃんの絵に感動し、世界の骨髓バンク関係者が感動の涙を流しました。

NMDP年次大会に全国協議会の代表が参加するようになり、今年で3回目になります。今回は「あやちゃん展」を正式出展することになり、海部会長をはじめ野村運営委員長ら6名が出席しました。

NMDP年次大会には、全米のみならず世界各国の骨髓バンク関係者が参加します。そうした中であやちゃん展、全国協議会代表団と「あやちゃん展」に対しNMDPは特別の配慮がされました。総会では、冒頭のハンセン理事長の挨拶の中で、海部会長、野村委員長、三瓶和義氏(あやちゃんの父・東京の会代表)の3人の登壇を求めて紹介があり、海部会長が聴衆にメッセージを送りました。

全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髓バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者
渡辺孝一
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:info@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655



会場では世界の骨髓バンク関係者があやちゃんの絵を見ての感想を書いた。

あやちゃんの絵に見入る人、英文の紹介パネルを熱心に読む人、感想を書いてくれる人、絵を見てその説明キャプションを読み、みんなが感動の涙を流していました。

日本ですでに100回をこえて開催されている「あやちゃん展」が与える感動は、海を越えて世界の骨髓バンク関係者と共有するところとなりました。

なお、今回の訪米代表団派遣とあやちゃん展開催はミネアポリス市に本社のあるノースウェスト航空の協賛により実施されました。

●三瓶和義さんから
「海外開催を決めて3年越しの運動が果たしたことにただホッとしています。思い起こしてみれば、新しい感動が広がります。アメリカ開催には海部会長、野村委員長、富山の品川さん、山口の猶さんに同行していただき、現地では大谷さんのお姉さんであるホリマン陸子さんと、新たな人間交流ができたこと、多大なお世話になったことを感謝いたします」



心からのご寄付を ありがとうございました

8月24日～9月21日

山崎沙知枝	現金	5,000円
鈴木純子	現金	1,340円
日本インシュレーション(株)有志	現金	1,055円
一宮ライオンズクラブ	現金	217,500円
青森県社会福祉協議会	切手	7,420円
阿原一良	現金	10,000円
村田畑枝子	現金	5,000円
流山金寿司お客様一同	現金	85,550円
匿名	現金	2,939円
読売文壇ゴルフ北陸チャリティ大会	現金	1,071,500円
村上順子	現金	1,440円
小野寺南波子	現金	12,000円

●佐藤さち子患者支援基金
村田美枝子 現金 5,000円
(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
全国骨髓バンク推進連絡協議会

財団事務局長への の推せんなど の議論 第1回 代表者会議報告

9月13日、文京区勤労福祉会館で、第1回代表者会議が25加盟団体の出席で開かれました。

主要議題であった、KENさんの財団事務局長への推せんのことについては、いくつかの団体で「未討議」「判断しきれぬ」「推せん方法への要望」の報告があり、「賛成」の報告が多数を占めました。

この議論後開かれた、臨時運営委員会で、KENさん宛に推せん状を出すことに、財団にはこの旨を通知すること、役員人選の制度改善の要望書を提出することを全員一致で決定し、代表者会議に報告されました。

また、10/4一斉キャンペーンを取り組み計画では25カ所で行う。新潟をはじめ、各地で、積極的な取り組み計画が報告されました。

その他主な議題は、次の通りです。

- ◆登録受付窓口の実態調査について
- ◆各地のドライブイン実態について
- ◆チャリティーゴルフ開催について
- ◆今年度の公開フォーラムについて
- ◆患者向け小冊子発行について
- ◆患者コーディネーター設置要望について
- ◆12月全国大会について

GLAYツアー、各地で募金活動

【名古屋国際展示場】今回のGLAYツアー、8月23日の名古屋は国際展示場での野外ライブです。なんとまあ巨大なエアコン付お客さん待合室が用意され、立ったり座ったり寝転んだりしてのお客さんの間をうろろしながらという大変快適な募金活動でした。歩き回ってくたびれましたが、募金箱はみるみる重たくなり、お礼のバッチも用意した分は開演前にすっぴりなくなつて、あとからあとからやってくるお客さんたちに申し訳なかつたです。

【福岡マリメッセ】当日の募金活動が決まったのは、ほぼ1週間前でしたので人集めが大変でしたが、メイク・ア・ウィッシュの友人に頼み込んだり、hideさんのファンクラブの方に必死で連絡をつけ、25日13名、26日17名で、何とか無事に臨むことができました。募金箱も以前よりも小さく、持ちやすくなり、とても快適でした。グッズ売場の周辺にいますと、お釣りを財布に入れる前のファンの方たちが向こうから集まってきて下さって、大声を張り上げなくても目が合っただけで(キティののぼりを目印に)自発的に募金をしていかれました。募金活動のときは、キティの「のぼり」は必需品です。

【兵庫西宮球場】8月29、30日GLAYのコンサートが西宮球場で開かれ、募金活動と骨髓バンクへの協力を呼びかけました。何度、参加してもその動員力のすごさに驚かされ、これだけの若い人たちにPRできる場所を提供してもらっていることに感謝したいと思います。募金の事もファンの人たちは、もうよく分かっています。募金箱を持っているだけで「いくら募金したら、バッチをもらえるの?」「90円しかないんだけど」と声を掛けて、寄ってきてくれる、こんな恵まれた募金活動はそうできるものではないのです。それに、当日は「メイク・ア・ウィッシュオブジャパン」の方々と一緒に、暑い中、暑くても、心も暑い、暑いコンサート会場でした。30万人目指して、ひたむきに小さいけれど強い思いを結集していきたいと感じた2日間でした。

【所沢西武球場】9月5、6日にわたって行われ、2日間で3万個用意されたバッチは、数時間になくなるほど積極的な協力が得られました。

(瑠玉)



西武球場での募金活動

骨髓バンクの最新情報をお知らせする

●毎週日曜日「シンポジウム・ドナー登録受付」実施
秋田県は、ドナー登録者拡大をめぐり10月から12月の骨髓バンク推進月間に向けて県庁・保健所主催で、毎週日曜日・祝日、順番に「骨髓バンクシンポジウムとドナー登録受付」を実施します。日程と開催地は、10/4秋田市、10/11横手市、10/18大館市、10/25鷹巣町、11/1大曲市、11/8能代市、11/23湯沢市、11/29男鹿市、11/6本庄市の9カ所です。各会場とも、その地域(市町村)の交通便利等を考慮し最も集まりやすい場所(公民館・地域交流センター等)へ保健所職員が出向いて開催するものです。地元のボランティア団体及びマスコミも全面的に支援しており、県内の各保健所を一巡して行われるドナー登録者拡大キャンペーンは、全国で初めての画期的な取り組みであり、成果が目まぐるしく見られます。

●財団認定の骨髓移植施設・採取施設の状況について
本年7月に天理よろず相談所病院(血液内科・小児科)、8月に旭川医科大学附属病院(第3内科・小児科)が、新たに骨髓移植施設となりました。なお、財団は本年春、各認定施設に対し移植・採取の実績調査及び認定施設継続についての意向調査を行いました。その結果、千葉県がんセンターは施設認定を辞退、愛知医科大学附属病院、金沢医科大学病院、社会保険京都病院、鳥取県中央病院、佐賀県立病院好生館は、採取のみの施設となりました。本年8月末現在、財団認定の骨髓移植施設は102施設(139診療科)、骨髓採取施設は107施設となっています。

●NMDP年次総会及びWMDA会合へ財団から代表を派遣
9月18日～20日、アメリカ・ミネアポリス市で開催されるNMDP・全米骨髓バンクの年次総会に、財団・岡本国際委員長と事務局担当の2名を派遣し、NMDPとの実務上の意見交換を行います。また、9月17日にはWMDA・世界骨髓バンク協議会の定期会合も開催されますので、各国骨髓バンクとの国際協力の一

層の進展をめざして協議に参加します。
●骨髓移植推進ミュージカル「明日への扉」通算20回の公演!
平成6年春・大阪から始まったミュージカル「明日への扉」は、以後毎年、学校法人・滋慶学園グループ校のある大阪・東京・福岡で上演されています。9月10日(木)東京・大井町「きゅりあん」での公演で通算20回目を迎え、観客動員数も3万人を超えました。毎年、舞台はリニューアルされており、学生たちの熱演は新たな感動を呼び起こしています。
8月末のドナー・患者登録数と移植例数
[ドナー登録者数] 100,814人
[患者登録者数(累積)] 6,768人
[非血縁者間骨髓移植例(累積)] 1,652例

骨髓バンクボランティアダイヤル
フリーダイヤル
0120-892-106

その疲れに、
リゲインを。

肉体疲労時の栄養補給、滋養強壮に。

Regain

メーカー希望小売価格: 50ml・291円(本体価格)

今年も北陸読売文壇ゴルフ

第5回読売文化人ゴルフ北陸チャリティゴルフ大会が9月12日、石川県・ツインフィールドゴルフ場で開かれました。サタイトルに「骨髄バンク運動協力」とあるとおり、プレー後のオークション売上金が全国協議会へ寄付されるため、例年のように海部幸世会長と渡辺孝一副会長がプレーに参加、多額の寄付をいただきました。

夏のあいだ、不順な天候つづきだった北陸も、この日はまさにピーカンとなり、120人の参加者中、過去2年はブリー賞に輝いた海部会長も、思わぬ暑さが響いたか「ブリーメーカー」になったのでした。



(遠藤)

遠藤さん出版記念パーティー報告

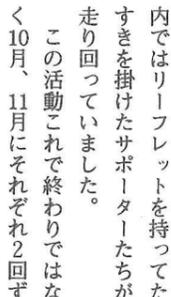
9月3日夜7時会場の入口に「遠藤允さん出版記念パーティー hide」が「がんばらだぞ」優しさと、愛と勇気をありがとうの看板が掲げられました。出版社「小学館」から贈られた生花が正面に飾られた会場へ、遠藤允さんは早々に登場し、少し緊張の面持ちで、参加者にプレゼントしてくれる著書1冊づつに心を込めてサインをしてくださいました。

いつもよりおめかしした人達は、遠藤さんにおめでどうを伝えて会場の中は熱い熱気に包まれました。パーティーは野村正満運営委員長の乾杯で、参加者全員で「おめでどう！」を贈りました。歓談の後、作家・遠藤允さんの感謝のご挨拶がありました。hideの葬儀のため築地本願寺に駆けつけて、hideと真由子ちゃんの心の交流を中心に本を書く事を決意した時の思い、約1カ月で書き上げた著書の苦勞話、hideの死因は「不慮の事故」だと確信を抱くにあたった経過、心無いマスコミ報道に対する熱心なファンの失望の度合い、出版に漕ぎ着けるまでの各方面との数々の交

Jリーグ・セレッソのキャンペーン

Jリーグセレッソ大阪のホームゲームでの今回のキャンペーンは、セレッソ大阪のサポーターであり患者さんの原田さんのセレッソ大阪への呼びかけから始まりました。この話を伺ったときには、どういふことが行われるのか想像できませんでした。そして実際に話を伺ってみるとたくさんの方の企画案が用意されているのに驚きました。

9月15日第1回目の活動、12時頃来て下さいと言われていたので行ってみると、まだひとけもまばらな長居スタジアム。スタジアム内に案内されてブースへ行ってみると机と椅子があるだけ、しかしどこから出てきたのか立て看板やのぼり、いつの間にか貼られているポスター、あつと言つ間にそれなりのかたちになってしまっていました。当日は日本の南にある台風の影響が強くせつかく並べたチャンスやピラが次々に飛んでいきます。それを押さえてい



(写真提供：毎日新聞社)

各地のたより

9月12日の午後から13日の午前中と2日にわたって京都醍醐寺で開かれました。普段は2、3カ月に一度ぐらいの割合で開催しています。いつも午後から2時間を一人の先生にお越しいただいて新しい情報や載りたり個人的な相談にのって戴いたりしています。今回参加していたいたいたアドバイザー(講師、またはセカンドアドバイザー、または同士)は、醍醐寺中村宗務総長、姫路恵教会中村牧師、京都血液センター佐治先生、大阪成人病センター平岡先生、京都第一赤十字病院藤井先生、カウンセラーの藤岡さんと超豪華メ

この会では、講師のお話を一方的に聞くのではなく少ない人数で相談にのっていただくチャンスにしています。今回の日程、講師は決まっていますが詳しいことは関西協会事務局におたずねください。

9月9日、安中市のプレスカントリーゴルフクラブにて、群馬県骨髄バンクチャリティゴルフ大会が行われました。経済が低迷し価値観が多様化する中、骨髄バンク運動が、より幅広い年代層に、そして各種団体や趣味の世界、更にスポーツの世界にと、色々な世代や分野に認知され、積極的な協力が得られる日の来るのを願いつつ、毎年開催してまいりました。幸い、地域の会員や企業の温かい協賛を頂き、参加者全員にもれなく

いつもより多くの患者さんと家族の方が参加されたので3つのグループに分けてアドバイザーを受付けました。移植の適応年齢を越えている人、ドナーのまだ見つからない人、病気といわれてまだ日の浅い人、家族の中にも移植が済んで間もない人、10年も経過している人、その後問題(悩み)を持つている人、またご両親、ドナーになった御姉妹、小さいお子さんを亡くした方など立場の違う人が集まりました。関西協会の患者・家族

実践編1 取材の要点

● 次回の「原稿の書き方」に連動するが、「何を盛り込むのか」を明確にしなければ、取材はスムーズに進まない。ただ、各地の会報に多く見られる「行事報告」では、そうした視点はあまり必要ないといえる。それでも、しっかりと取材材料を得ておかないと、さらさら原稿になってしまふことは、経験者にはよくお分かりだろう。

そこで、ここでは「一人に取材する際の要点」を掲げておこう。結論を先に書けば、それは「聞き上手になること」に尽きる。取材とは文字どおり、原稿を仕上げるための材料を取得するのが目的のだから、それに沿って相手に語ってもらわなければならない。取材者が持論を差し挟むにしても、それはあくまでも相手から必要な材料を引き出すための「呼び水」であることとをしっかりと自覚すべきだ。テレビの討論番組で、司会

「勤九郎杯」チャリティゴルフ大会参加募集

日時 10月19日(月) 8:00より

場所 キングフィールドズゴルフクラブ(市原市)

プレー費 18,650円

参加費 6,000円

お申し込み、お問い合わせは全国協議会へ(前号のご案内で金額に誤りがありました)

hideのぶんまで、生きるんだ。

「X JAPANのhideに会いたい」……1995年12月31日、世界でも数十例しか報告されていない難病と闘う少女の夢がかなった。出会いの瞬間にふれた、hideの大きな優しさ、その日から彼女を励ましつづけるhideと、彼を兄のように慕う少女のあたたかい関係が始まった。そして1998年5月2日、hideの突然の死。悲しみをのりこえ、hideのぶんまで、生きるんだ。少女は、今も、未来を信じて闘っている。ふたりが交わしたEメールや手紙、プライベート写真など友情の軌跡を初めて公開する、hideのこころにふれる感動のドキュメンタリー。

難病と闘う少女とhideの2年5ヵ月。

hide 「がんばらだぞ」 優しさと、愛と勇気をありがとう

著者・遠藤允 ISBN 978-4-333-32116-6 定価：[本体1,300円]+税 好評発売中 小学館

本書の売上金の一部は全国骨髄バンク推進連絡協議会に寄付され、患者支援基金にあてられます。

ご希望の本が、お近くの書店にない場合は、当社(愛媛県文芸センター)がTEL又はFAXでご購入等の問い合わせをお受けします。●書籍の問い合わせ…03-3230-5739 ●コミック、ムック、ビデオ、CDの問い合わせ…03-3230-5749 ●FAX…03-3230-0094 ●インターネット小学館オンラインショップhttp://www.shogakukan.co.jp

hideのぶんまで、生きるんだ。

hide 「がんばらだぞ」 優しさと、愛と勇気をありがとう

著者・遠藤允 ISBN 978-4-333-32116-6 定価：[本体1,300円]+税 好評発売中 小学館

本書の売上金の一部は全国骨髄バンク推進連絡協議会に寄付され、患者支援基金にあてられます。

ご希望の本が、お近くの書店にない場合は、当社(愛媛県文芸センター)がTEL又はFAXでご購入等の問い合わせをお受けします。●書籍の問い合わせ…03-3230-5739 ●コミック、ムック、ビデオ、CDの問い合わせ…03-3230-5749 ●FAX…03-3230-0094 ●インターネット小学館オンラインショップhttp://www.shogakukan.co.jp

